

五輪から暴力団排除  
都など12機関が連携  
2020年東京五輪・  
パラリンピックに向け、大  
会組織委員会や警視庁、東  
京都など12の関係機関が  
29日、都内で「暴力団排除  
共同宣言」の締結式を行つ  
た。

競技場建設などが本格化  
すると、暴力団などが違法  
な労働者派遣や不当要求で  
資金獲得に乗り出す恐れが  
あるため、宣言を機に、警  
察への通報体制などを構築  
する。締結式で組織委の雜  
賀貞・総務局長は「共同宣  
言は暴力団排除の第一歩。  
徹底的に排除して国民の信  
頼を得たい」と述べた。

共同宣言の締結後、腕を組んで連携をアピールする大会組織委員会や警視庁などの担当者ら（29日、東京都港区）



# 東京五輪施設工事 暴力団排除で連携 12団体・機関が共同宣言



東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、日本建設業連合会（日建連）、全国建設業協会（全建）、警察庁、警視庁など12団体・機関が29日、東京・虎ノ門の東京2020組織委員会虎ノ門オフィスで、「暴力団排除共同宣言」を行った。2020年東京五輪関係の施設工事が本格化する中、暴力団をはじめとする反社会的勢力の排除と、排除に向けた体制を連携して拡充するのが狙い。それぞれの団体が共同宣言に署名し、取り組みを強化する方針を確認した。

共同宣言は、五輪に開催するすべての事業につ

共同宣言に署名した12団体・機関の代表12名、都内で

いて、12団体・機関が相互に連携し、△暴力団などの反社会的勢力を排除する△反社会的勢力の排除体制を構築する△不当な要求は断固拒否する△警察など関係機関との連絡運報体制を構築する――こうしている。

共同宣言後、難観真大会組織委員会総務局長は、「競技会場の建設が本格化する。反社会的勢力の関与を徹底的に排除し、国民の信頼を得て、施設が後世に語れるレガシーになることを確信している」とあいさつ。建設関係団体を代表し、万仲宣夫日建連常務執行役は、「勇気を持って行動するが、効果的に推進するには発注者を含めて関係者の協力が欠かせない。共同宣言は建設業全体として、もともと強い連携を強め、課題を乗り越え、世界一安全な国、日本での五輪が安全に開催されるよう一つ丸ごとて取り組む」と決意を述べた。

がら反社会的勢力の標的となされていました。業界としても勇気を持つて排除に取り組むが、効果的に推進するためには、関係機関の協力が必要です。世界一安全な国への東京における大会が「安全・安心」でありますように、一緒に取り組む」と強い意志を示しました。

共同宣言には、日本オリンピック委員会、日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、東京オリンピック競技大会組織委員会、東京オリンピック・パラリンピック委員会、東京オリンピック・パラリンピック監視庁、弁護士会、暴力団追放運動連合会、全国建設業協会、警察庁、大会推進本部事務局、日本建設業推進都民ヤンシャーが参加しました。

五輪開連事業 暴力団排除共同で宣言

日本オリエンピック委員会や日本建設業連合会、全国建設業協会、建設警察庁など12団体は、2020年夏季東京五輪に関連するすべての事業から暴力団などを反社会的勢力を排除することを共同で宣言した。29日、都内で「暴力団排除共同宣言」が発表された。

宣言書では、五輪を「すべての国民が夢と希望を分かち合う、次世代に誇れるレガシーとなる大会として成功」させたため、開催するすべての事業において連携して、>暴力団などの反社会的勢力を排



2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会

東京  
輪

## 暴力団排除へ共同宣言

### 日建連、全建が締結参加

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ら合計12機関・団体等は3日、「暴力団排除共同宣言」を締結した。東京・港区の虎ノ門ヒルズで締結式が行われた。写真。建設関係団体を代表し、日本建設業連合会、全国建設業協会が締結に参加した。

締結式で日建連の万仲宣夫常務執行役は「勇気をもつて暴力団を排除していく建設業界として実効性ある対策に関係者一丸となって取り組む」との決意を示した。

宣言書では、暴力団等の反社会的勢力の排除▽反社会的勢力の排除体制の構築▽不当要求の断固拒否▽警察等関係機関との連絡通報体制構築が盛り込まれた。

